

第58回稲城市民スポーツ・レクリエーション大会サッカー競技

幼児、小学生の部 競技実施要項

1. 参加資格

- ・2026年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チームおよび、稲城市内在住、在学者で構成されているチーム

2. 参加費 参加費は徴収しない

3. 競技規則

以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会2025-2026年度『サッカー競技規則』に準ずる。試合会場は総合G・長峰VF・南多摩G・南多摩覆盖G(低学年のみ&スパイク禁止) 退場者については次の試合1試合のみを出場停止とする。

4. 基本の試合時間(熱中症対策などにより変更の場合有り)

幼 児：予選・決勝 8分ハーフ 6人制 当日5人しかいないチームがいたら5人制とする
1年生：予選・決勝 10分ハーフ 6人制 当日5人しかいないチームがいたら5人制とする
2年生：予選・決勝 12分ハーフ 8人制
3年生：予選・決勝 15分ハーフ 8人制
4年生：予選・決勝 15分ハーフ 8人制
5年生：予選・決勝 20分ハーフ 8人制(チーム数が多い予選は15分ハーフの場合あり)
6年生：予選・決勝 20分ハーフ 8人制(チーム数が多い予選は15分ハーフの場合あり)
インターバル(前半終了～後半開始のホイッスルの間)は5分(幼児の部は3分)とする。

5. 試合

・大会予定日

幼児 9/27(覆盖) 小学1年生 9/21,10/12(覆盖) 小学2年生 9/22,10/18(覆盖)

小学3年生 9/23,10/25(覆盖)、小学4年生 9/13,9/21(南多摩)、

小学5年生 9/22,11/3(総合)、小学6年生 11/22,1/11(南多摩)

覆盖→南多摩スポーツ広場覆盖グラウンド

南多摩→南多摩スポーツ広場サッカーグラウンド

総合→稲城中央公園総合グラウンド

長峰→稲城長峰ヴェルディフィールド

※雨天、市内小学校の運動会の順延、上部団体大会の日程変更等があり出場不可能なチームが出た場合は日程を変更します。

- ・別途定める学年ごとの組み合わせ表に基づき、リーグ戦やトーナメント戦により優勝以下を決定する。
- ・試合開始時に1年生以下は5名、2年生以上は7人が出場している状態であること。試合中に1年生以下は4人以下、2年生以上は6人以下になったら試合不成立とし、人数が足りないチームの不戦敗とする。その後の試合は勝敗とは関係なく最後まで続けても良い。
- ・1年生以下の大会では基本的にオフサイドは適用しないが、主審が「あからさまな待ち伏せから得点に絡むプレー」と判断した場合はオフサイドを適用する。
- ・頭部の打撲など「脳震盪が疑われる状況」とチームが判断して退いた選手は、それ以降の当

日の試合には出場できない。チーム指導者は選手の安全を最優先すること。

- ・試合が不成立となったリーグ戦では、不戦敗チームの「0-5」またはその時点での得失点差が多い方を採用する。双方のチームとも人数不足等で不成立の場合は「0-0」とする。
- ・リーグ戦の順位については、以下にて決定する。

勝ち点の扱い 勝：3、引分：1、負：0、不戦敗：-1

- ・順位の優先順位：①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トス
トーナメントにおいて同点の場合は3人制のPK戦により決定する。以降サドンデス。

6. グラウンドのサイズ

- ・別途定める「学年ごとグラウンドサイズ」による。

7. 会場運営（各チームに割り当てられます）

- (1) 会場運営のチームは学年ごとの組み合わせ表に記載のチームが担当する。
- (2) 選手・観戦者の入場は第一試合開始1時間前以降とする。総合G長峰VFは8:45以降。
- (3) 当日試合のあるチームのスタッフについて、南多摩Gや覆蓋Gでは第一試合開始90分前、総合Gは8:30以降、長峰VFは8:45(8:30の場合もあり)以降の集合とし、原則全チームでグラウンド作りを行うが、午前午後で対戦を分けられた場合は、午前のチームでグラウンドの準備を行い、午後のチームが後片付けと整備を行う。
- (4) 会場運営チームの役割(各日2チームで運営に当たるのでチーム間で分担可)
 - ① 南多摩スポーツ広場では入り口の鍵を第一試合開始1時間30分前に開錠するので同時刻に集合。他グラウンドはそれぞれの開場時間に合わせて指定する。
 - ② 当日の試合進行表をA3に拡大し、掲示する。
 - ③ 空気圧計、空気入れ、WNGT計、審判・本部要員用に飲料水を用意する。
 - ④ 南多摩G・南多摩覆蓋Gにおいては（別途指示がある場合を除いて）
A駐車場より先へは本部・運営（各1台）以外の車を入場させない。
 - ⑤ 総合Gでの試合のライン引きは少年部が依頼する。
総合Gではスタッフは8:30、選手・観戦者は8:45以前に入場しないよう管理する。
 - ⑥ 長峰VFではスタンドでの観戦は試合ごとの入替えを守るよう誘導する。
 - ⑦ 試合終了後、全チームの退出後グラウンド状況を確認し、場合によっては施錠する。
 - ⑧ 南多摩G倉庫内の石灰の残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。
 - ⑨ 南多摩覆蓋Gでは、大会の都度南多摩Gの倉庫から石灰を持ってきて使用する。
 - ⑩ 南多摩グラウンドでは最後の2試合のチームの選手及びスタッフに、芝の修復のため、削れた部分への砂入れ作業を適切に行うよう指示する。
 - ⑪ 運営担当は基本的には2名で、本部としての役割を理解している者が担当する。運営の役割をせずにただ本部に座って観戦することは不可とする。本部から応援はしない。
運営業務は理解したが、慣れていない担当の指導の為もう1名待機することは認める。

8. 出場チームの構成

- ・別途定める「チーム登録条件」を参照。

9. ベンチ入り

- ・選手の人数制限は設けない。ベンチ入りスタッフは5名以下とする。応援の保護者とは明確に分離する。感染症対策など入場制限のある場合は別途指示する。
- ・テクニカルエリアを設置しないためスタッフが戦略指示をする場合はその場で行う。ベンチから離れての指示は不可で、注意や懲戒罰の対象となる。

10. 交代

- ・FPは「交代ゾーンでの自由な交代」、GKはアウトオブプレー時に主審確認の上、退くGKが一番近いラインより退場し交代するGKは交代ゾーンから入場する。

11. ボール

- ・4号公認認定球で、2年生以下は0.6気圧、3～6年生は0.8気圧に調整したボールを当該チームが持ち寄る。

12. ユニフォーム

- ・原則としてFP・GKともに正副(袖の有るシャツ・ショーツ・ソックス)を用意し、それぞれが容易に識別できるものであること。黒色のショーツ・ソックスを認める。
- ・GKは最初からショーツとソックスはFPの物を着用しても良い。
- ・アンダーシャツ・アンダーショーツ(タイツ)の色は問わないが、チーム内で統一する事。
- ・外部に装着するソックステープなどの色はソックスと異色も可で、チーム内統一も不要。
- ・戦術的にGKを交代する場合は背番号の変更はできず、GKユニフォームの着回しも相手と同系色のユニフォームも認められない。
- ・GKの予期せぬ事態でのFP選手との交代の際、その場に適応したユニフォームが無い場合は、他選手との色別や安全性を備えた背番号の無いシャツの着用や、退くGKのユニフォームを着用して対応する事が出来るが、ビブスは基本的に認められない。
- ・暑熱対策として飲水タイム・クーリングブレイクが採用された場合に限り、つばが柔らかい素材の帽子を、つばを後ろにして着用することを認める。
キャプテンマークは必須ではないが着用する場合は、引っかけたり緩くて外れたりしないよう安全面に気を遣う(特に低学年)。基本的に規定に準ずるものの着用が望ましい。

13. その他

- ・疑義が生じた場合は本部に提起し、出場チーム間で確認を行う。
- ・熱中症や感染症の対策が行政より配信された場合は、それを遵守する。
- ・本大会自体、または特定チーム、個人を批判することを目的とした写真動画等の公表は固く禁ずる。
- ・動画・静止画に関わらず肖像権の侵害に当たる場合、それらのSNS等への投稿を禁止する。
- ・参加者名、大会結果、写真について、市やスポーツ協会等のホームページや発行物に掲載することがありますが、大会参加申込により、ご承諾を得たものといたします。
- ・本要項に定めない不測の事態が生じた際は少年部に必ず報告する。少年部はサッカー連盟役員と共に誠意をもって協議し、円満に解決を図るよう努める。

以上